



(損保版)

第1~4月曜日発行
発行所 新日本保険新聞社
大阪市西区本町1丁目5-15
電話 (06) 6225-0550 (代表)

シンニチ保険Web
www.shinnihon-ins.co.jp

購読者専用サイトのパスワード
diamonds (2012年 6月30日まで)
rightnow (2012年 7月1日から)

損保決算 大手2社赤字、1社大幅減益
タイの洪水や自然災害等が打撃

大手損保3グループと富士火災、共栄火災は、5月17・18日の両日に2012年3月期の決算を発表した。今期は、タイの洪水に伴う保険金支払いや自然災害関連の保険金、自動車保険の損害率悪化などが影響し、MS&ADは169億円の赤字、NKSJが922億円の赤字で、

Table with 8 columns: 正味収保, 火災, 海上, 傷害, 自動車, 自賠, その他. Rows include MS&AD, 東京海上HD, NKSJ, 富士火災, 共栄火災.

※共栄火災は非連結。MS&ADは、もどリッチの払戻充当保険料を控除。共栄火災は上記種目のほかに、建物更新50億円(△0.1)がある。()内は前年同期比増減率(%)。

損保業界では、市場が「増収を回ったが、自然災害を中心とした保険料収入の大幅に上昇した。また、生命保険事業では、少子高齢化を背景とする保有契約高の減少が続くなど、引き続き厳しい営業環境下にある。
【MS&ADグループ】 保険引受収益が3兆4532億円、資産運用収益が3016億円、その他経常収益が100億円となった結果、経常収益は3兆7649億円となった。一方、経常費用は、保険引受費用が3兆2653億円、資産運用費用が728億円、営業費及び一般管理費が5152億円、その他経常費用が83億円などとなった結果、3兆8611億円となった。
この結果、経常損益は、保険引受費用に計上したタイの洪水による発生保険金(正味支払保険金と支払備金繰入額の合計)

Table with 4 columns: 経常収益, 当期損益, 前年度比増減率. Rows include MS&AD, 東京海上HD, NKSJ, 富士火災, 共栄火災.

※共栄火災は非連結。()内は前年同期比増減率。

2735億円を主に、前年度に比べ1172億円減少し、962億円の損失となった。経常損益に特別損益や税金等を加減した当期純損益は、繰延税金資産の取崩し等による影響や、有価証券評価損等に係る評価引当額の増加255億円もあり、前年度に比べ1748億円減少し、1694億円の損失となった。
【東京海上ホールディングス】 保険引受収益2兆9781億円、資産運用収益3729億円等を合計した経常収益は、前年度に比べて1273億円増加し、3兆4159億円となった。一方、保険引受費用2兆6983億円、資産運用費用381億円、営業費及び一般管理費5155億円等を合計した経常費用は前年度に比べて936億円増加し、3兆2556億円となった。この結果、経常利益は前年度に比べて3

37億円増加し、1603億円となった。経常利益に特別損益、税金等を加減した当期純利益は60億円と、前年度に比べて659億円の減少となった。
セグメント別の概況を見ると次のとおり。
国内損保事業の経常収益は、前年度に比べて2375億円増加し、2兆6633億円となった。経常収益から正味支払保険金1兆4423億円などの経常費用を差し引いた経常利益は、前年度に比べて1011億円増加し、2057億円となった。
国内生命保険事業の経常収益は、前年度に比べて119億円減少し、4302億円となった。経常収益から正味支払保険金2177億円等の経常費用を差し引いた経常損益は、前年度に比べて691億円減少し、546億円の損失となった。

春秋
代理店の大型化に伴い、全国単位で代理店が連携を図る広域展開も徐々にみられるようになった。東京・港区に本社を構えるARIC

持つ。取扱い保険会社は損保15社、生保17社で、収入保険料は損保一般収保で約25億円、生保有で約32億円、手数料収入は約6億円。人員は総勢で120名。
今年4月からは、上場規模の企業のみを対象とする東京法人営業部と

いう傾向にあり、専業代理店が大企業の開拓に乗り出すのはまだ。
A.I.Pでは、将来的に保険代理店の価値を高めようとするのは法人マーケットであるという前提に、リスコムマネジメントの視点から保険提案に取り組んでいる。今回の取り組みもその一環で、法人営業部に大型企業案件を集中させ、開拓率を上げることも、従業員マーケットや地域物件の対応を各支店で行う予定だ。ホールディングス代表の松本一成氏は「当社ではリスコムマネジメントを強みに各支店のレベルアップを図っているが、全社的に法人開拓の仕組化を進めていきたい」と意欲を示す。(大空)

常収益から生命保険金等1317億円等の経常費用を差し引いた経常利益は、前年度に比べて3億円増加し75億円となった。海外保険事業の経常収益は、前年度に比べて96億円の減少し、5302億円となった。経常収益から正味支払保険金2177億円等の経常費用を差し引いた経常損益は、前年度に比べて691億円減少し、546億円の損失となった。

大阪法人営業部を開業するなど、大規模企業の開拓にも取り組み始めた。日本の損保業界では、上場規模の企業は損保各社の企業営業部門や銀行の別働隊代理店、保険ブローカーなどが担い、それ以外の中小企業市場や個人市場を専業代理店が担うと

生命は、前納保険料の減少により減収となったが、責任準備金繰入額も減少。保険引受関係損益の改善等により経常損失、当期純損益は改善した。
【共栄火災】(ポイント) 保険本業の黒字体質の定着に向けて取り組んだ結果、自動車保険、新種の保険で減収となったものの、信金・生協向けの傷

【NKSJホールディングス】 保険引受収益が2兆6282億円、資産運用収益が1510億円、その他経常収益が112億円となった結果、経常収益は

この結果経常損益は、前年度に比べて453億円減少し、518億円の経常損失となった。これに特別損益や税金および少数株主損失を加減した当期純損益は、前年度に比べて793億円減少し、922億円の当期純損失となった。当期純損失は、タイの洪水に係る正味支払保険金と支払備金繰入額の合計額が102

【富士火災】(ポイント) (連結)富士火災の影響により経常損益、当期純損益は減益。(単体)自然災害により発生保険金が増加し、保険引受損益は赤字。資産運用については有価証券評価損が低水準で推移し利益を確保。前期はリスク性資産圧縮に伴う多額の有価証券売却益を計上したため対前期比では減益となった。
経常損益は減益ながら黒字を確保。当期純損益は、法人税率引下げに伴う税制改正等により繰延税金資産の一部取崩しが発生し赤字。なお、富士

エイチ・エス損保 海外旅行保険商品改定 エイチ・エス損保は、7月1日以降海外へ出張する契約者を対象に、海外旅行保険(ネット専用機)の遅延や航空機に預けた手荷物の遅延にかかる費用に加え、旅行中に生じた予期せぬ偶然な事故により負担を余儀なくされた費用を補償する。